

平成16年(2004年)新潟県中越地震被害調査

＜吉見 雅行¹⁾・小松原 琢²⁾・吉田 邦一¹⁾・関口 春子¹⁾
木村 克己²⁾・宮地 良典²⁾・国松 直¹⁾・竿本 英貴¹⁾＞

1) 産総研 活断層研究センター 2) 産総研 地質情報研究部門

産業技術総合研究所地質調査総合センターでは、地震直後から被害調査(構造物被害、液状化被害)を実施している。被害の程度は地形・地質と関連が強いことが明らかとなった。調査結果はウェブサイトで公開中(http://www.gsj.jp/jishin/chuetsu_1023/index.html)。



1. 地滑りにより変形した道路(川口町田麦山地区)。



2. 倒壊した家屋。田麦山地区の緩斜面ではこのような被害が数多く見受けられた(川口町田麦山地区)。



3. 倒壊した家屋。多数の古い家屋が倒壊したが、新しい家屋の被害は軽微なものが多い(川口町川口地区)。



4. 変形した線路(川口町川口地区)。



5. 剪断破壊した新幹線高架橋の橋脚。この周辺では耐震補強が未実施であった(川口町和南津地区)。